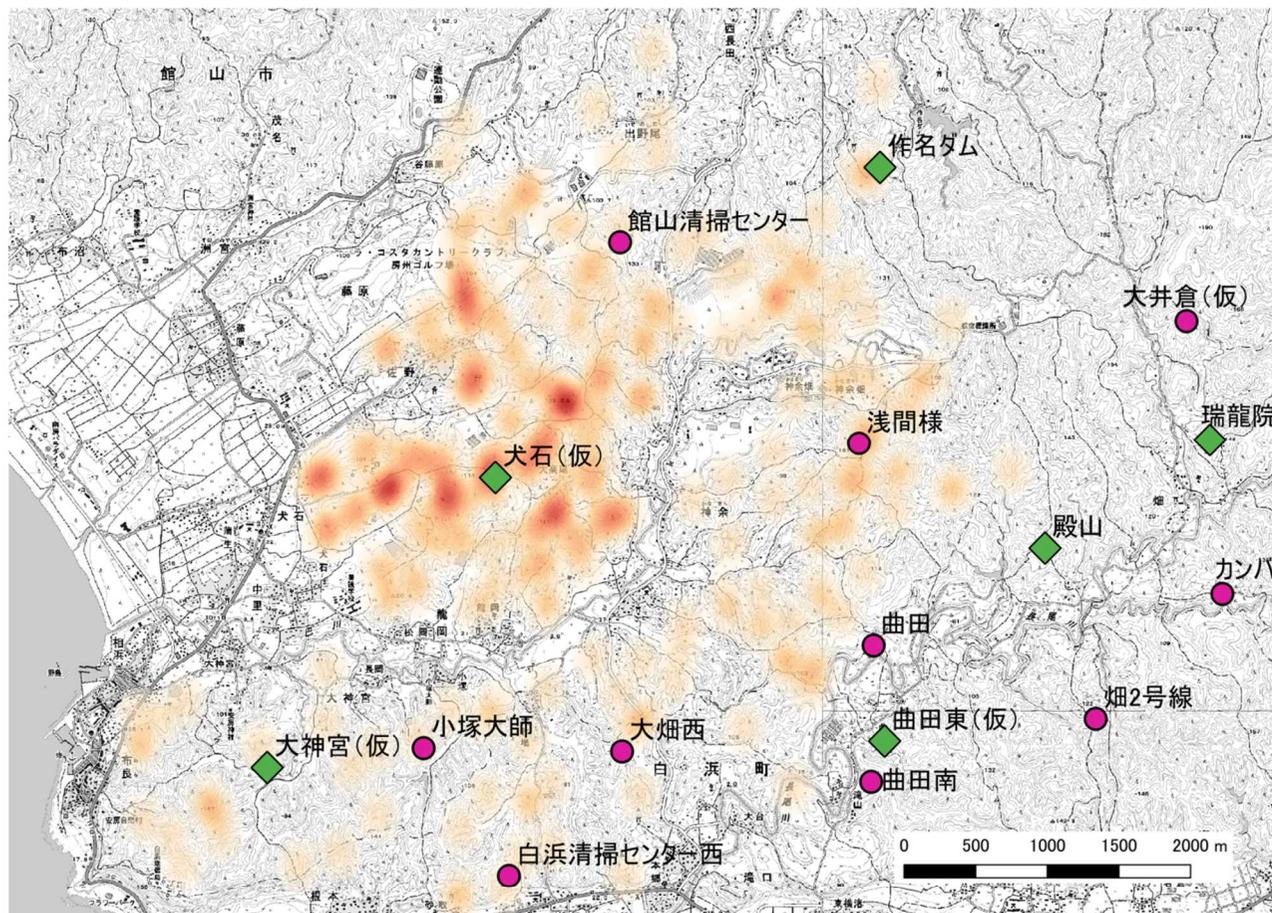


アカゲザル防除に関する各種データ

1. 群れの確認年度と発信器の発着状況（令和2年9月時点）

群れ名	確認年度	発信器装着数		備考
		VHF	GPS	
ウルシ群	2012年	5	3	発信器初装着は2016年。
ナギ群	2018年	0	1	
ハヤブサ集団	2011年	0	1	オス個体に装着。旧カボチャ群。
ミヤコ・クワ群	2013年	4	1	ミヤコ群とクワ群はそれぞれ2006年に確認。
エダマメ・ナシ群	2012年	2～3	0	旧型1台。
ヒメオウギ群	2019年	0	1	2019年度分裂確認。
コンブ群	2015年	1	0	
タキミ群	2008年	7	1	
スズシロ・キノコ群	2015年	7～8	0	旧型1台。スズシロ群は2008年、キノコ群は2014年に確認。
オタキ・ススキ群(本体)	2006年	2～3	1	旧型2台。2011年から2012年にかけて一時分裂。
ツバキ群	2019年	1	0	2019年度分裂確認。
ポピー・キンセンカ群	2015年	2	0	
アリドオシ群	2015年	0	0	2019年度発信器切れ。
モウセンゴケ群	2016年	2	0	
スタジイ群	2016年	3	1	
アジサイ群	2011年	1～2	1	旧型1台。
ヨモギ群	2008年	2	1	
センリョウ群	2013年	3	0	
パンジー群	2016年	0	0	2019年度発信器切れ。
合計		40～44	12	

2. 群れの集中利用地域（ヒートマップ）



凡例

利用頻度



● 固定式大型檻

◆ 移設式大型檻

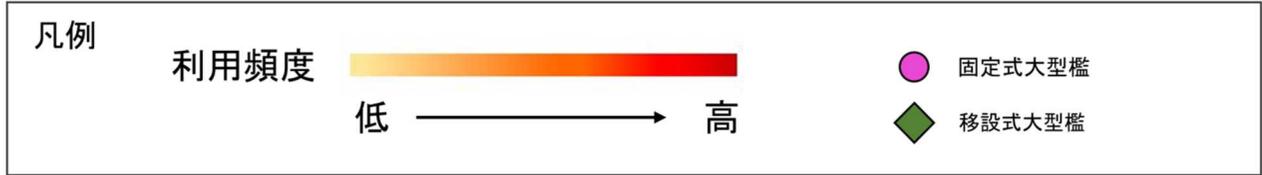
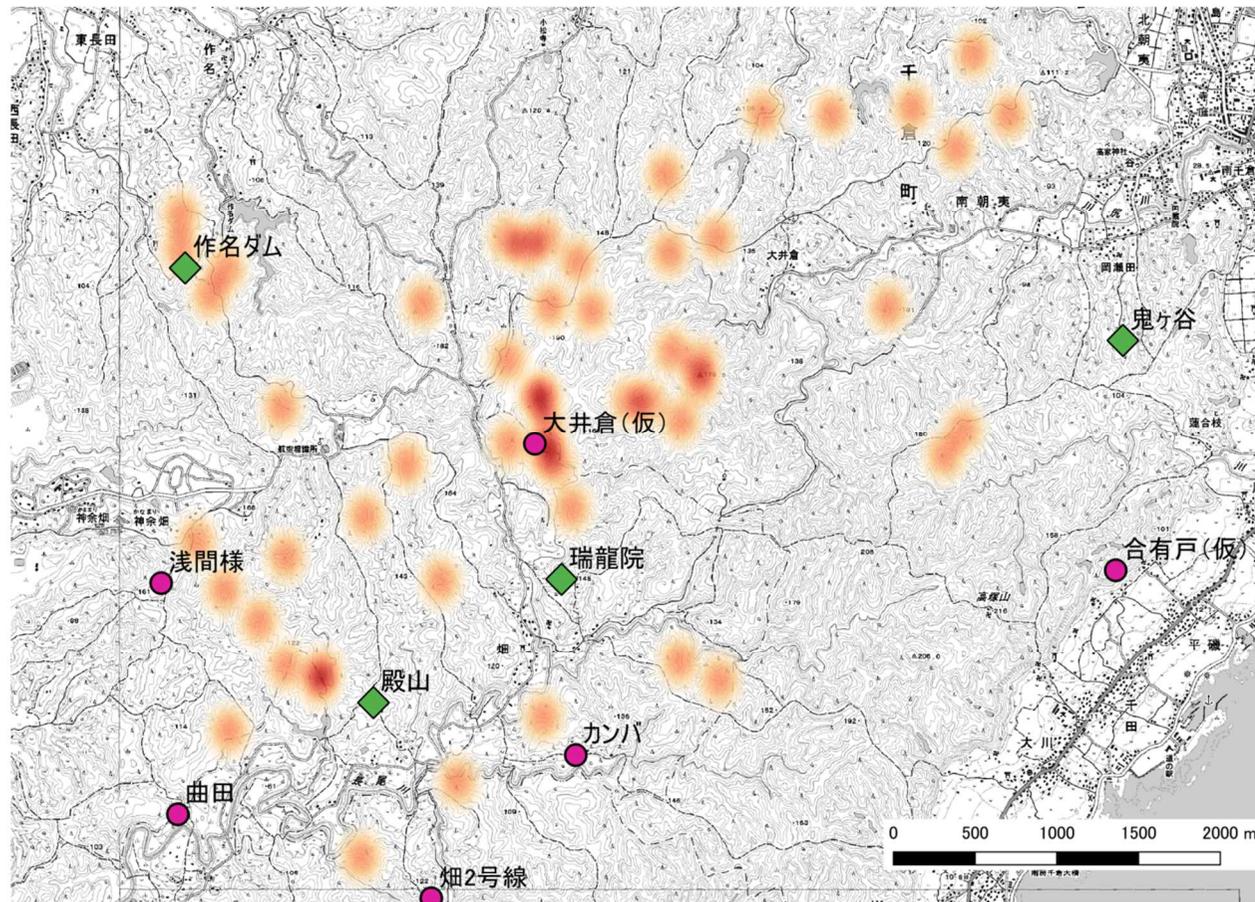
ウルシ群

推定規模：250 頭 (R1
実測値 297
頭)

捕獲数：316 頭

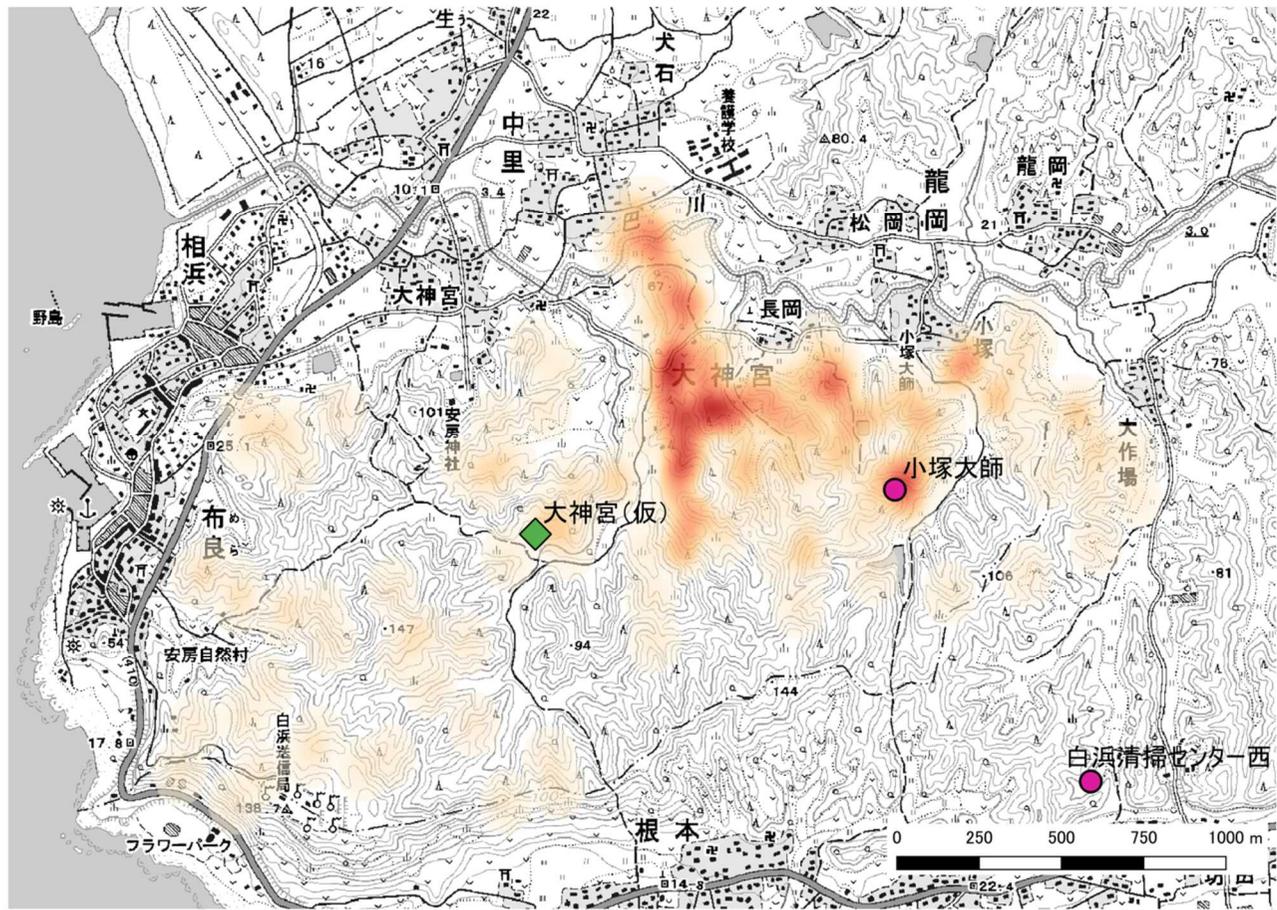
特徴：

- ・最近では毎年 100 頭程度捕獲している。
- ・捕獲の影響か、行動域北西部の利用が多くなった。→R2 年度に大型檻を建設 (犬石)



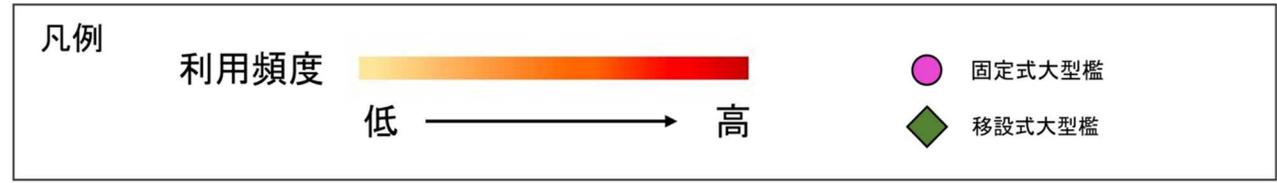
ハヤブサ集団
 推定規模：100～150 頭
 捕獲数：1 頭
 特徴：

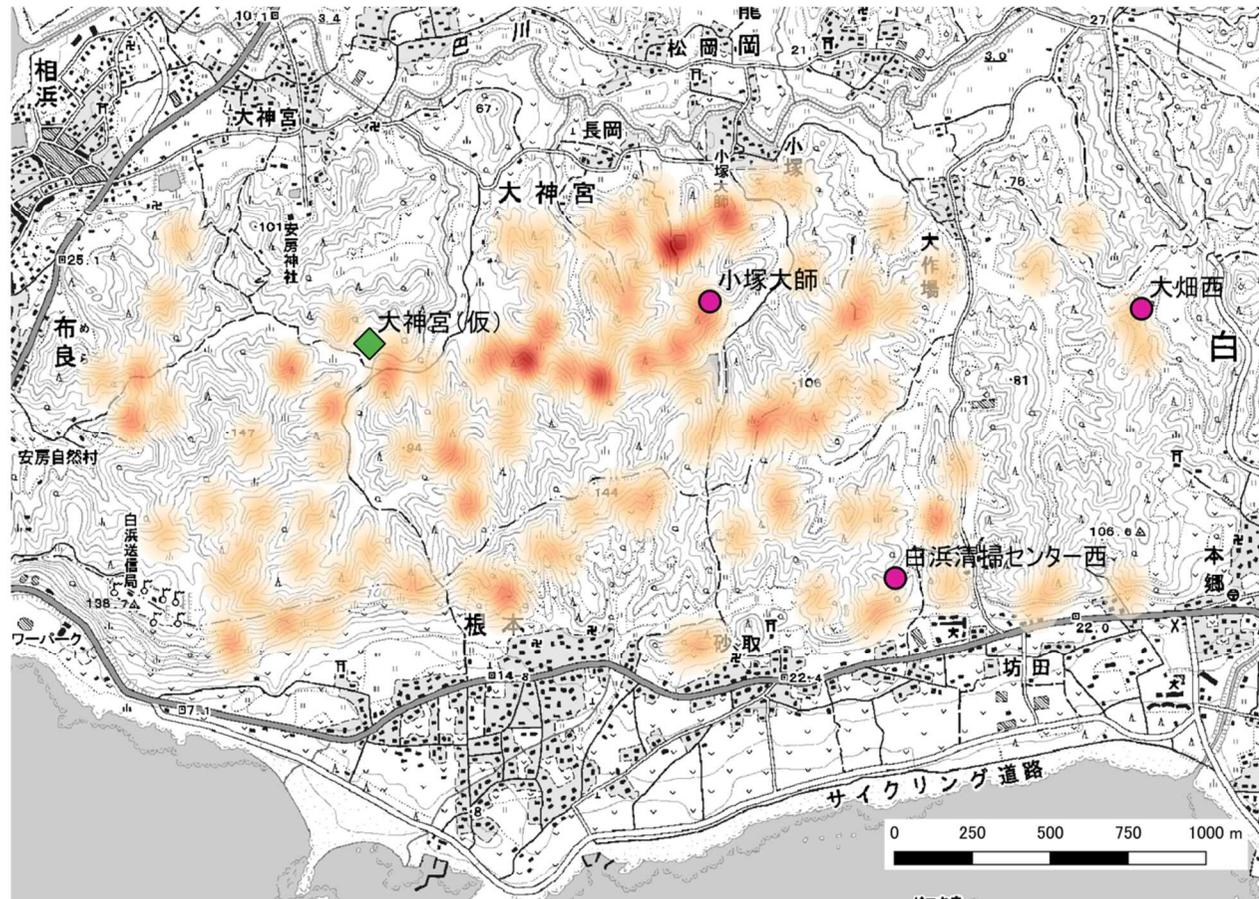
- ・オス個体に GPS 首輪が装着されているのみ。(2020 年 1 月から)
- ・大型檻での捕獲歴なし。
- ・作名ダムの檻で餌付き例があるが、利用が少なく捕獲には至っていない。
- ・R2 年度に行動域の中心部に大型檻を建設(大井倉)



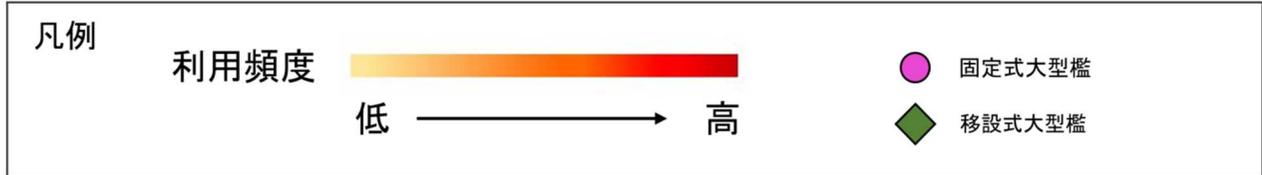
ミヤコ・クワ群
 推定規模：20～30 頭
 捕獲数：498～571 頭
 特徴：

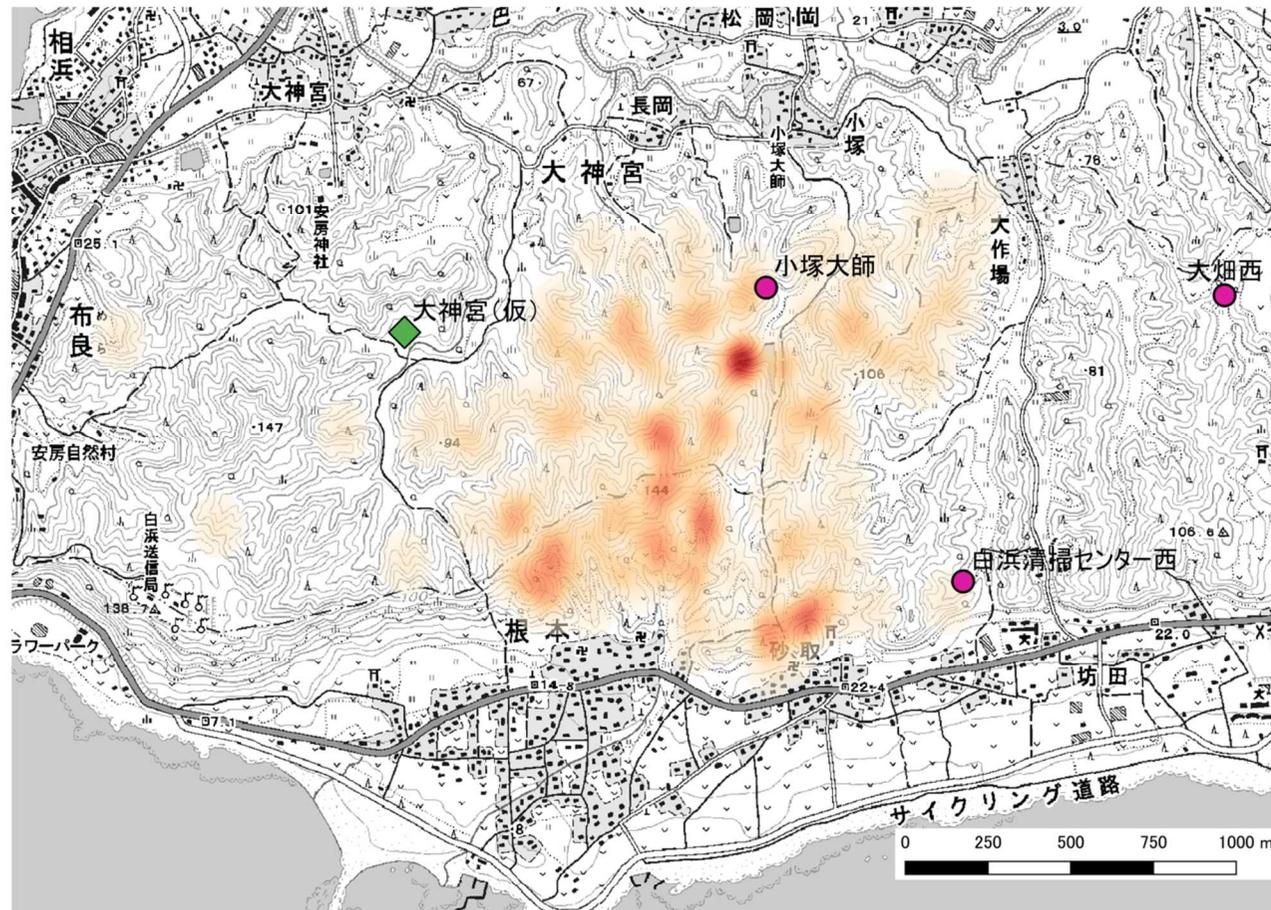
- ・発信器装着個体以外の捕獲が少ない。
- ・小塚大師の周りの利用は高いが、捕獲が少ない。
- ・利用エリアが1か所に集中している。
- ・住宅近くにいるが、警戒心が強い。



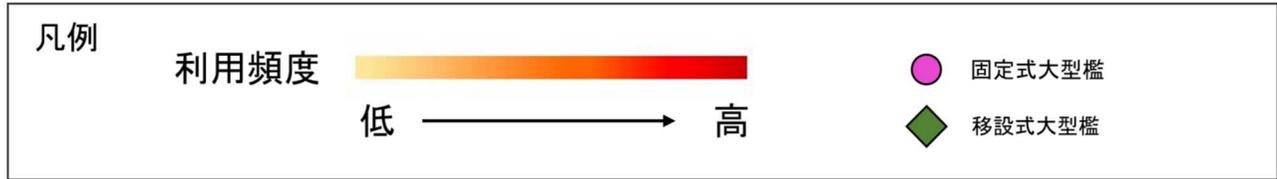


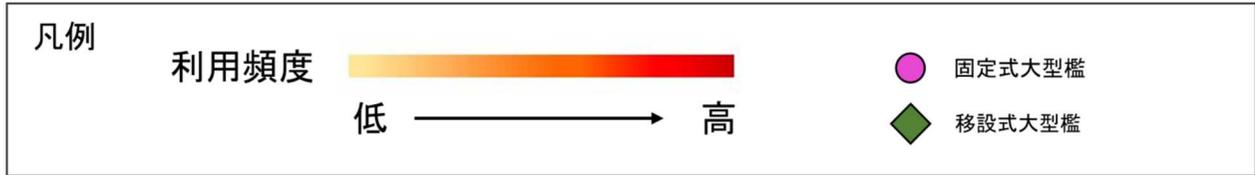
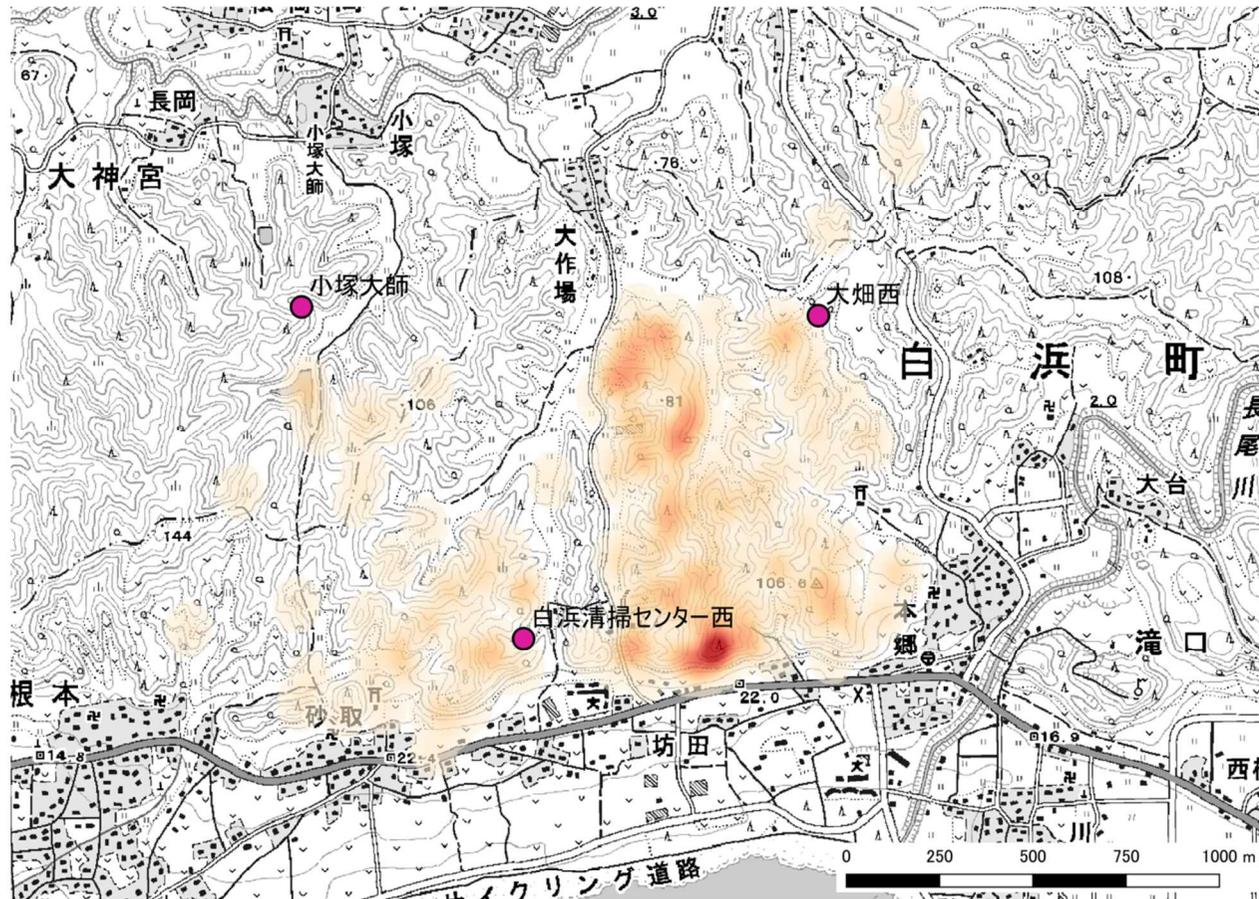
ヒメオウギ群
 推定規模：50 頭
 捕獲数：0 頭
 特徴：
 ・2019 年度にエダマメ・ナン群から分裂。
 ・西側地域を広く利用している。
 ・小塚大師の大型檻付近に来るが、今のところ餌付きがない。



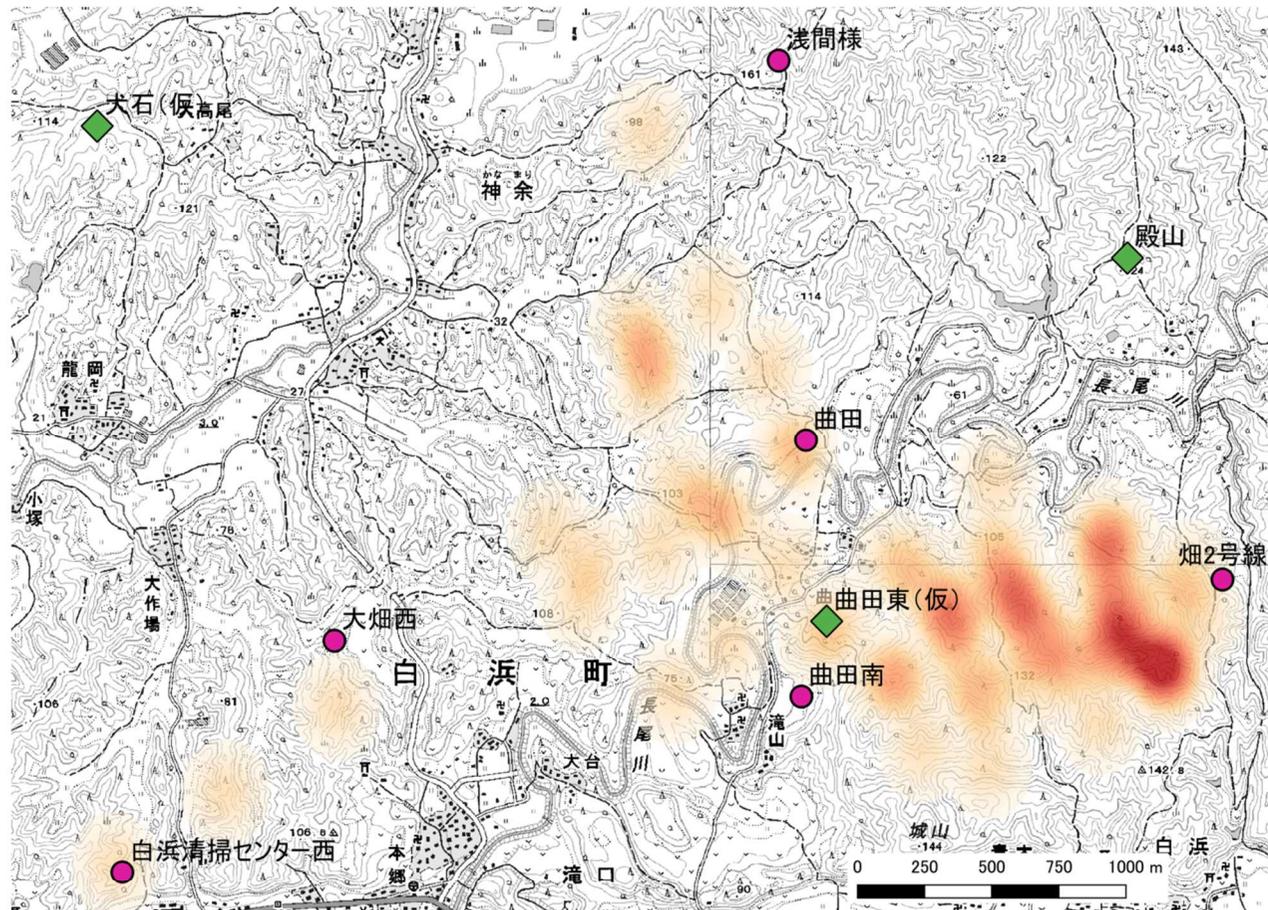


タキミ群
 推定規模：20 頭
 捕獲数：45～92 頭
 特徴：
 ・発信器装着頭数が多い。(8 頭)
 ・他の群れと一緒に捕まることが多い。
 ・山奥での確認が多く、なかなか目視出来ない。

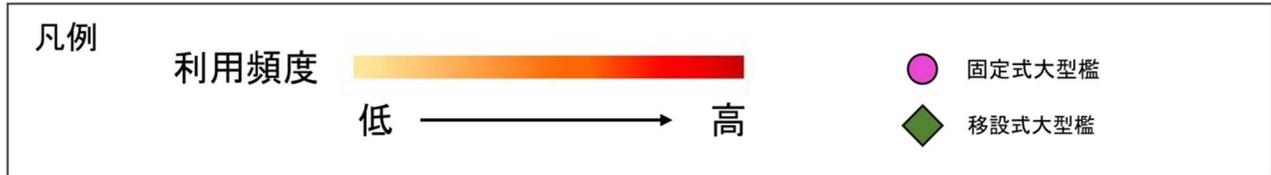


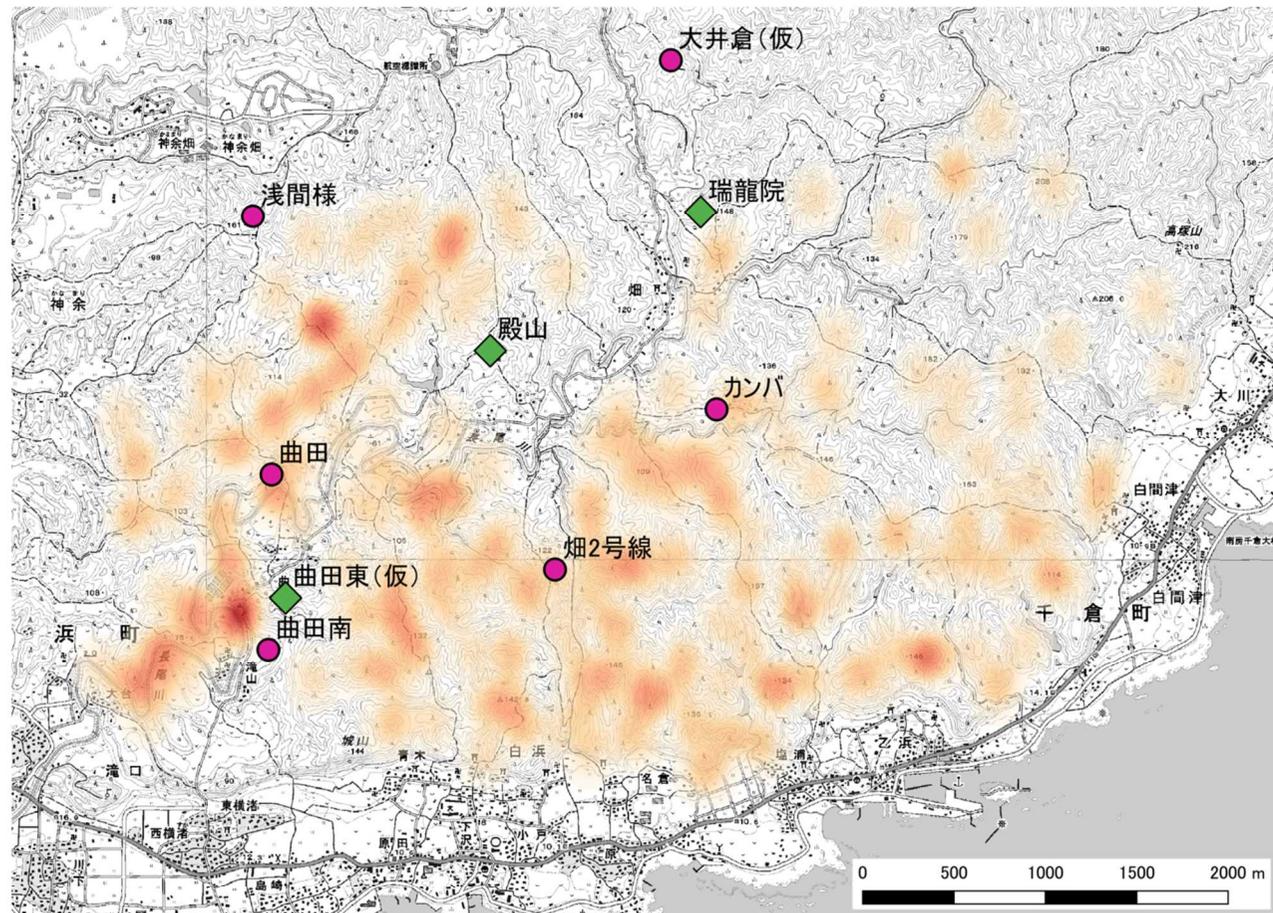


スズシロ・キノコ群
 推定規模：20～30 頭
 捕獲数：143～244 頭
 特徴：
 ・特定の山林に利用が集中している。
 ・一度に群れの全体が捕獲されない。



オタキ・ススキ群
 推定規模：30～50 頭
 捕獲数：1127～1129 頭
 特徴：
 ・近年群れの状態が不安定で分裂個体が見られる。(2年で4個体確認)
 ・大型檻の縁で確認されるが、檻に入らない(飛び込まない)。





凡例

利用頻度



- 固定式大型檻
- ◆ 移設式大型檻

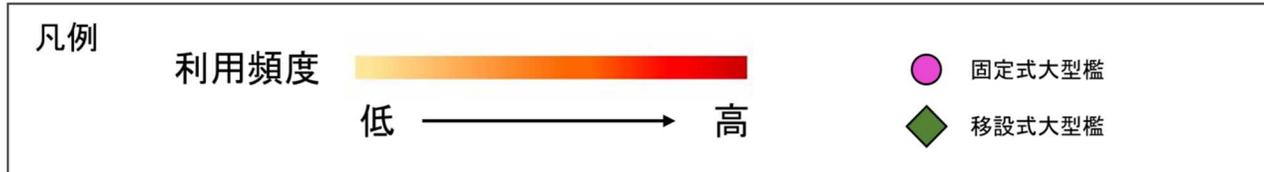
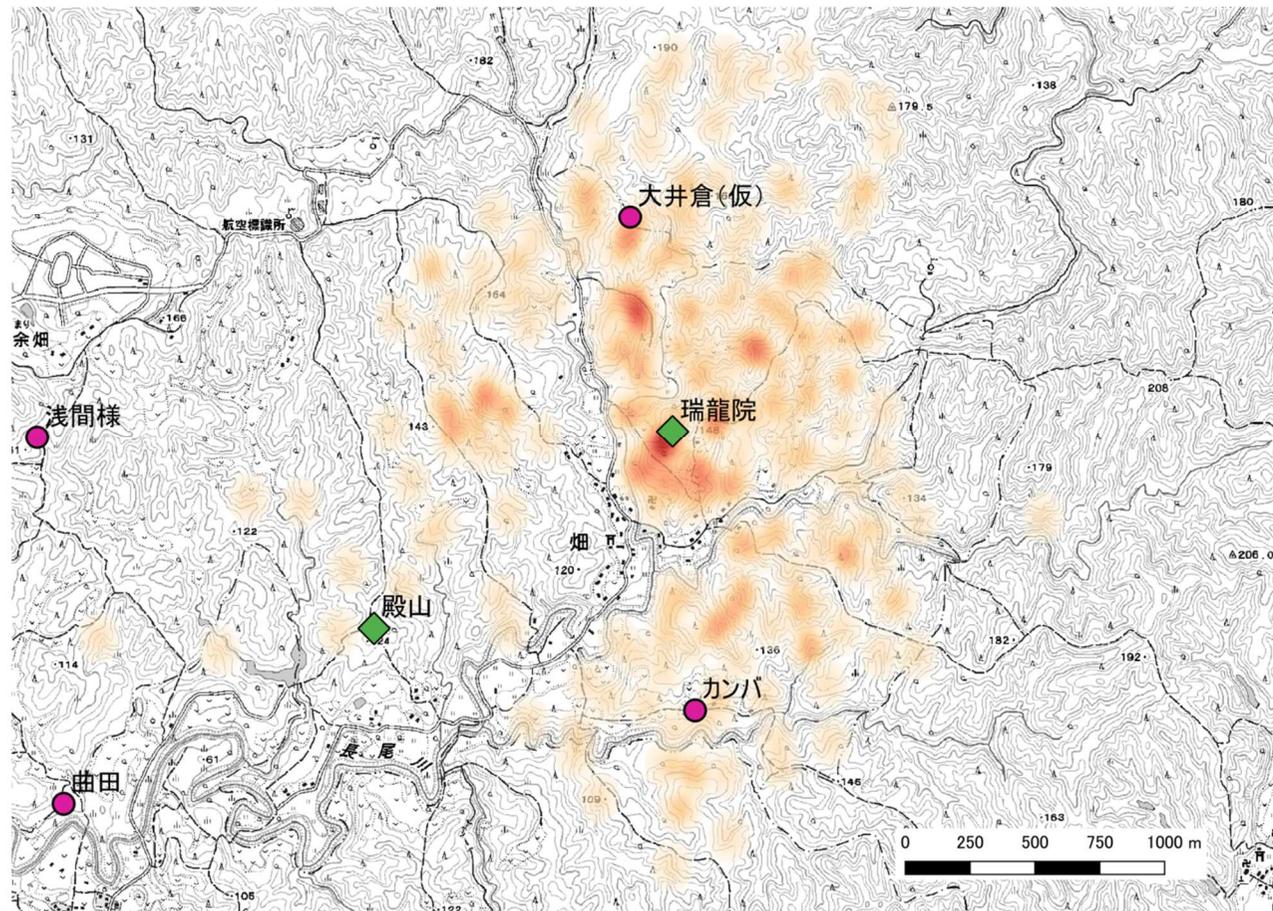
スダジイ群

推定規模：350 頭 (R1
実測値 290
頭)

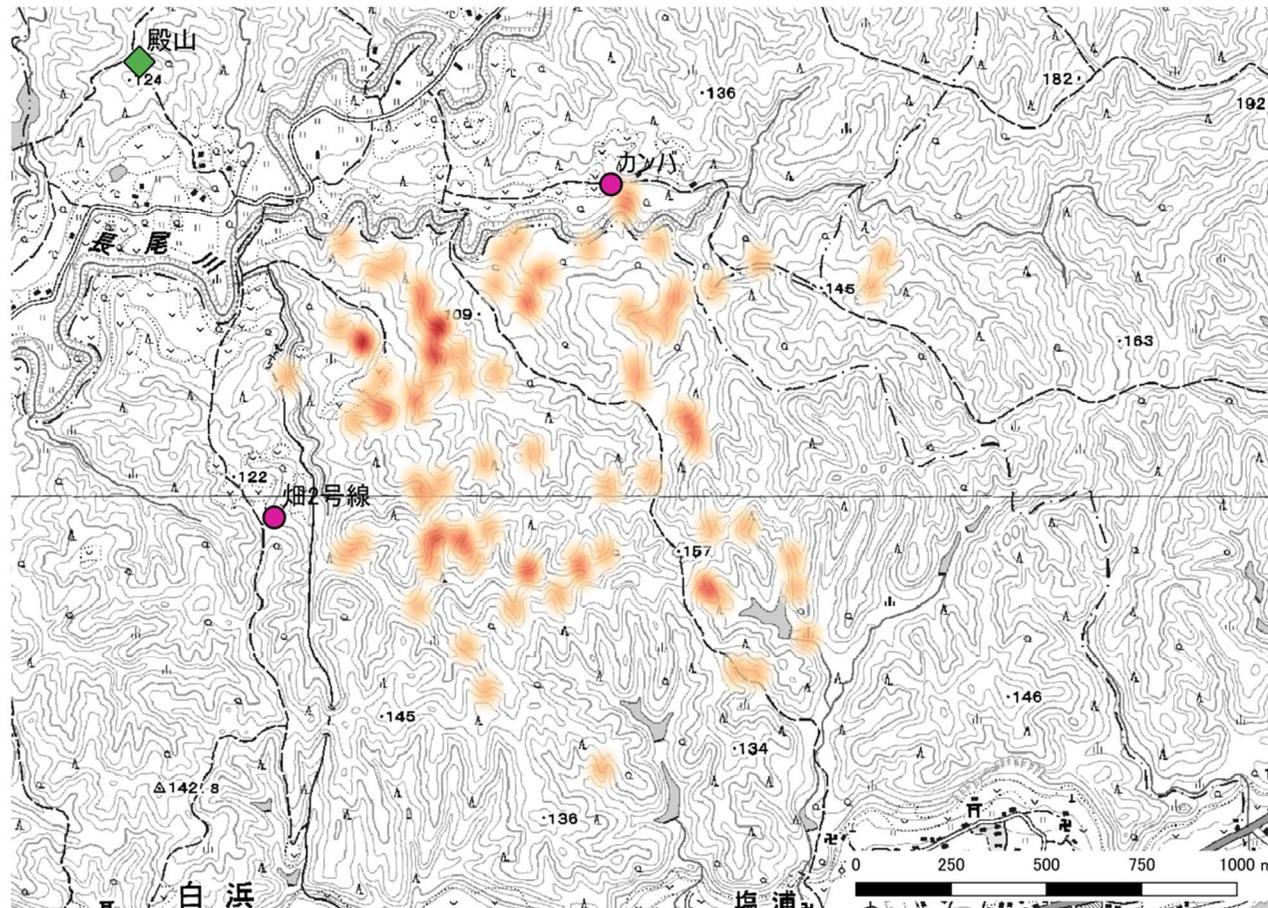
捕獲数：23 頭

特徴：

- ・群れの頭数は多いが、捕獲が少ない。
- ・山林部の利用が多い。
- ・夏季は川沿いを移動することが多い。
- ・移動速度が速い。



アジサイ群
 推定規模：20～40 頭
 捕獲数：32 頭
 特徴：瑞龍院の大型檻では捕獲歴なし。



ヨモギ群

推定規模：10頭以下

捕獲数：31～41頭

特徴：

- ・2年に1回ほどカンバで捕獲がある。
- ・山林部を利用しており、群れの規模が把握できていない。
- ・GPS装着個体は、2019年度に別群から移籍してきた個体。

凡例

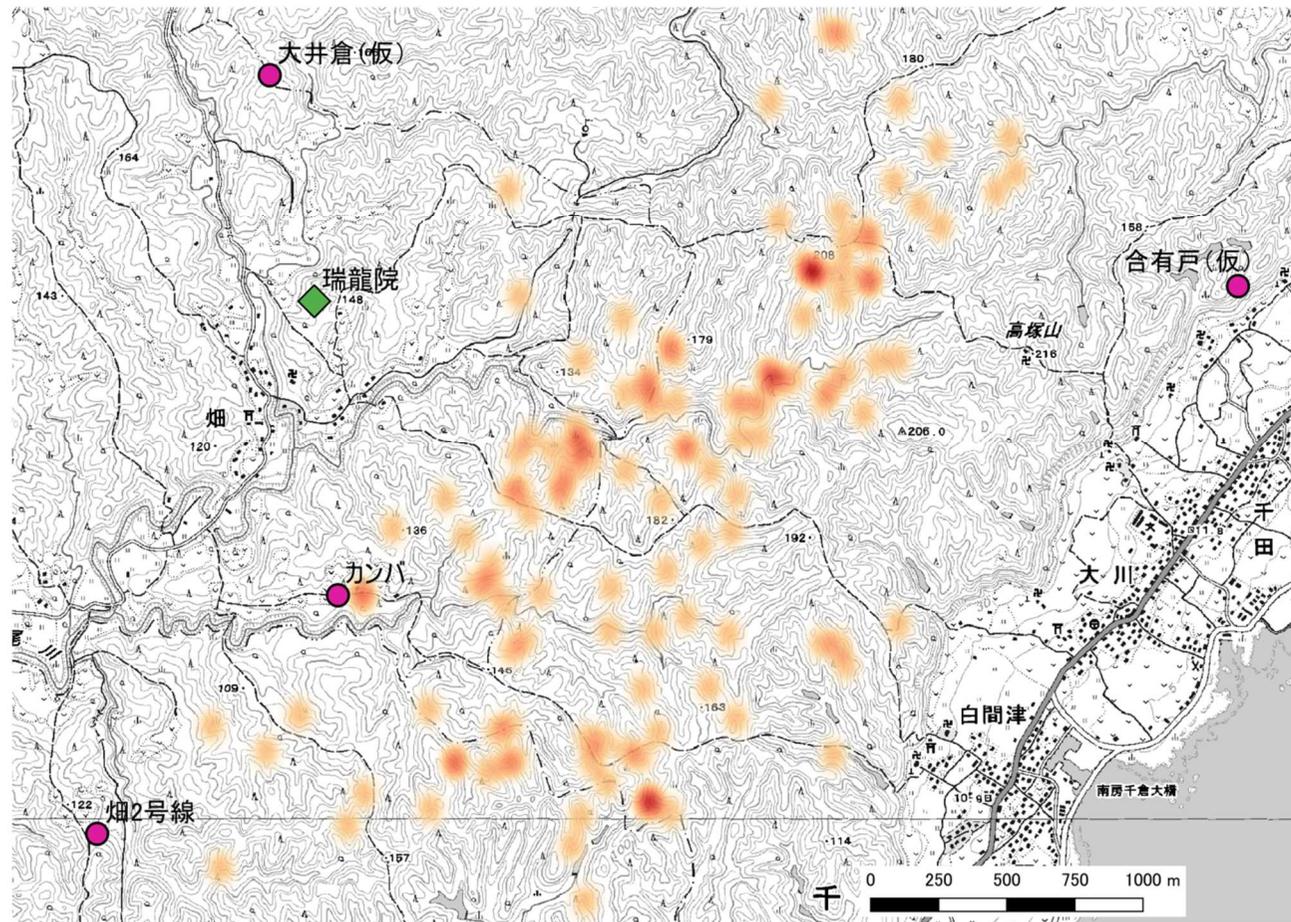
利用頻度



低 → 高

● 固定式大型檻

◆ 移設式大型檻



センリョウ群

推定規模：10 頭

捕獲数：218 頭

特徴：

- 山林部の利用が多いが、2年に1回はカンバの大型檻で捕獲がある。
- 群れの全体像が観察できないので分かっていない。
- 最近ではより北側でも確認されている。

凡例

利用頻度



低 → 高

● 固定式大型檻

◆ 移設式大型檻

3. これまでの群れの分派推移

